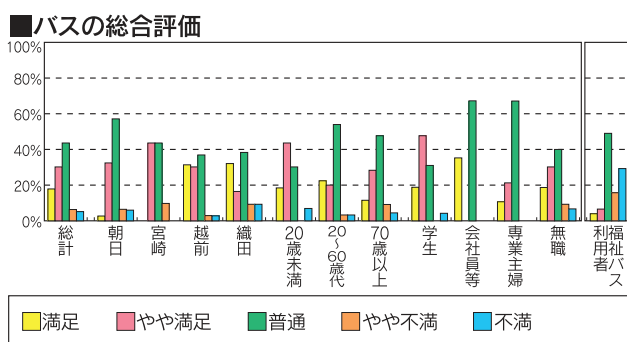
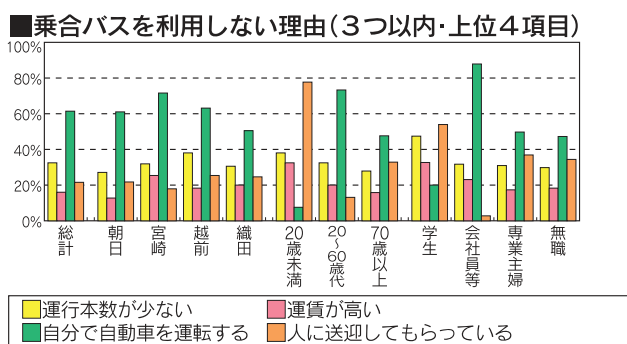
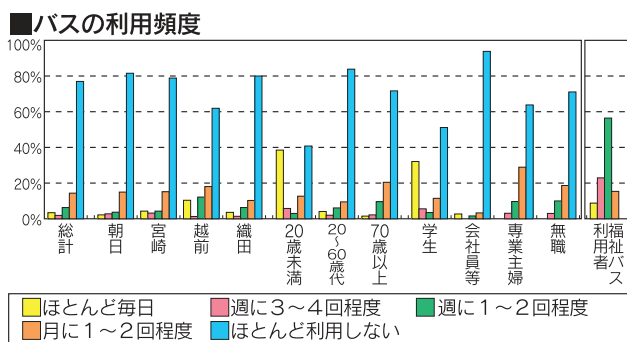




越前町公共交通アンケート調査結果報告(概要)

9月下旬から10月中旬にかけて町内1000世帯を対象に公共交通アンケート調査を行いました。620通の回答があり、回収率は62%で郵送回収方法としては非常に高く、町民のみならずの公共交通に対する関心度が非常に高いことが伺えます。また、町内公共施設にもアンケート用紙を設置し、福祉バス利用者からも115通の回答を得ました。

今回はこの公共交通アンケート調査の結果(概要)を報告します。(アンケート結果の全容は越前町のホームページで見ることができます)



1 乗合バス・福祉バスの利用実態と評価

乗合バスの利用については回答者の約8割が「ほとんど利用しない」と回答しています。年代別に見ると、20歳未満(学生)は「ほとんど利用しない」と「ほぼ毎日利用する」がともに4割を占めています。利用しない理由としてその8割が「人が運転する車での送迎」を挙げています。これは経済的な面もあるので一概には言えませんが乗合バスが朝夕の通学帰宅時に利用しにくい状態であることが伺えます。

一方、70歳以上では、約7割が路線バスを「ほとんど利用しない」と回答しており、その理由として3割が「人が運転する車での送迎」を挙げています。

以上のことから、路線バスを利用しない人の中にも、潜在的なバス利用者があることから、**利用しやすい交通環境の整備が必要**といえます。

一方、現在運行している福祉バスの評価については、不満が約4割を占めており、**運行時間帯、便数、ルートなどの見直しが必要**になってきていることが伺えます。

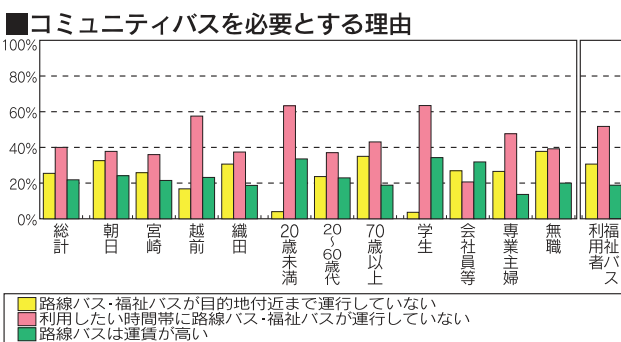
2 コミュニティバスの必要性

コミュニティバスの必要性

については、回答者の約6割が「必要」と回答しています。その理由として、4割の方が「利用したい時間帯に乗合バス・福祉バスが運行していない」を挙げています。

このことから、**路線バスの増便や福祉バスの運行時間拡大の可能性も含めて検討**することが、必要であると考えられます。

特に、越前地区、20歳未満、学生において、その割合が高いことから、**重点的に対策を検討**する必要があります。

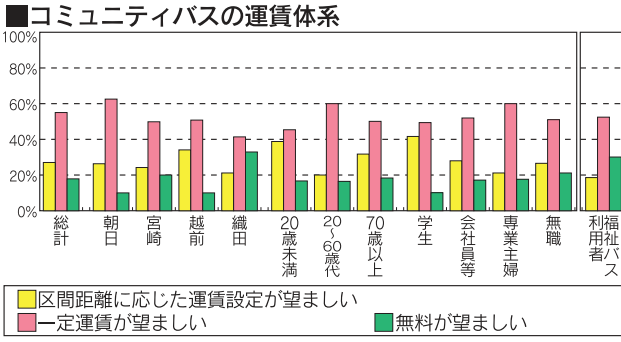
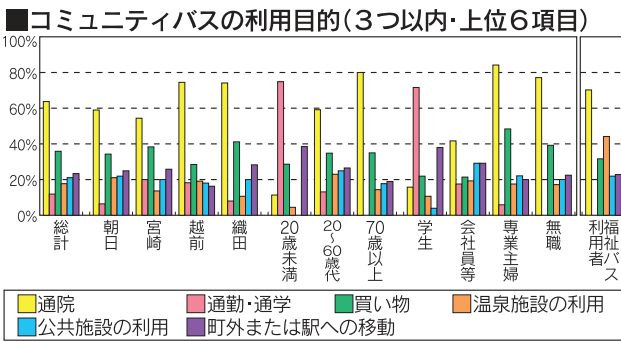


院のある織田地区や隣接市とのアクセス強化を検討する必要があります。

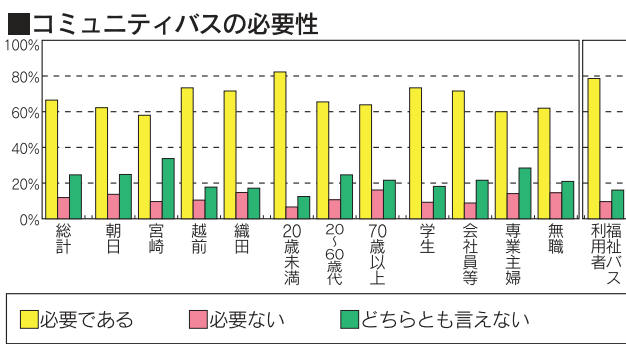
利用時間帯については、20歳未満(学生)では通学に利用するために、朝(6~9時)と夕方(17時~)、その他の人は通院や買物のために日中(9~17時)が多くなっており、**利用者(利用目的)に応じた時間帯別の運行内容の検討が必要**です。

なお、運賃については、約7割が費用負担してもよいとの考えで、そのうち5割が「**一定運賃が望ましい**」と回答しています。金額は、「200円/回」の回答が4割と最も多く、次いで「100円/回」となっています。

このアンケート結果を踏まえ、越前町の公共交通について、越前町地域交通活性化検討委員会において協議・検討していきます。



問合せ先 政策調整室 ☎34-8714

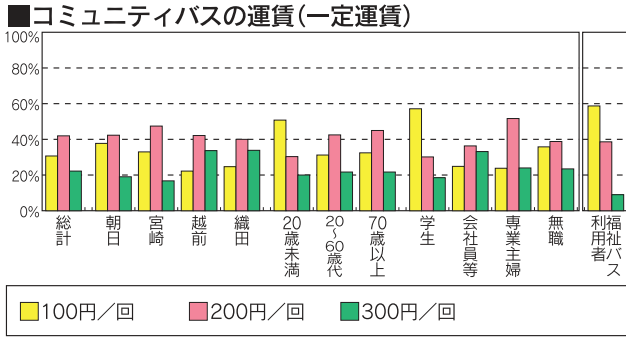
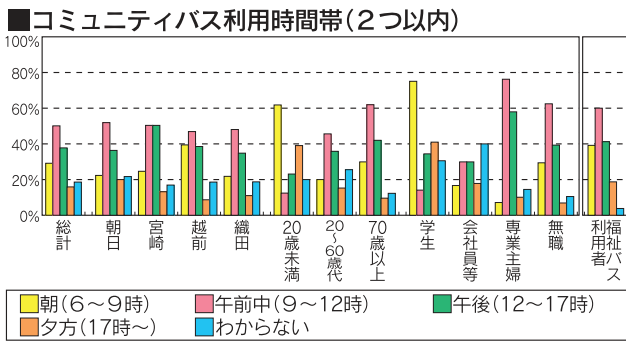


3 コミュニティバスが導入された場合の利用目的など

コミュニティバスの利用目的については、回答者の6割が「通院」、次いで3割が「買物」を挙げています。

越前地区では、「通院」が8割と高くなっています。また、20歳未満(学生)では、7割が「通学」を挙げており、その具体的な行先は隣接する鯖江市内の駅・高校となっています。

これらのことから、**総合病**



この調査にご協力いただきましたみなさまに厚くお礼申し上げます。 政策調整室